指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和2年度)

Į	施		設	0	ס	名		称	ヒルズ県南総合プール(宮城県仙南総合プール)
į	旨	定	管	理	者	の	名	称	セントラルスポーツ株式会社
Į	施	設	所	管	部	課	(室	₫)	企画部スポーツ振興課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期	間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成18年 4月 ~	~ 平成21年 3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成21年 4月 ~	~ 平成24年 3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成24年 4月 🗸	~ 平成29年 3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成29年 4月	~ 令和4年 3月	指定管理者	セントラルスポーツ株式会社	

⁽注)管理形態欄には,直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

#5	中世	III	者の	Ø	称	名和	陈	セントラルスポーツ株式会社
18	た 官	垤	もの	10	<i>የ</i> ባን [所在均	地	東京都中央区新川一丁目21-2
指	5	È	期		間	平成29	年4月	引日 ~ 令和4年度3月31日(5か年)
募	1	Ę	方		法	■公	〉募	□ 非公募

3. 施設の概要【施設所管課記入】

٥.	・施設の俄安【施設所官謀記入】								
施	設	の	名	7	称	ヒルズ県南総合プール(宮城県仙南総合プール)			
所		在			地	田郡柴田町大字本船迫十八津入内			
設	置		年		月	平成11年4月			
根	拠	条	侈	iJ	等	総合運動場条例			
設	置		目		的	スポーツ普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため			
						敷 地 面 積 22,588.03 ㎡			
						構 造 鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階建			
施	施設の内容								
開	館	(j	所)	日	休館日(毎週水曜)及び年末年始(12月29日~1月3日)を除く毎日			
開館	馆(所)	寺間				平日 午前9時から午後9時まで 日・祝日 午前11時から午後7時まで			
指業	定 管 務	理を	者が軍		う	1 施設全体の管理運営業務2 施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務3 施設の使用制限及び入場の拒否等に関する業務4 施設の機械設備操作・日常点検業務5 施設・設備,物品及び敷地の維持管理業務6 その他施設の管理運営業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務			
						採用の有無 ■ 有 □ 無			
利	用	料	4	Ž	制	利用料金の名称施設利用料金			

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

	事業計画	実	績			
項目	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)	対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)	
開館(所)日数	300 日	300 日	267 日	89.0%	89.0%	
延べ利用者数	53,181 人	52,138 人	37,846 人	71.2%	72.6%	

⁽注)対象施設が複数ある場合は,施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

	事業計画	実	績		11366	
項目	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)	対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)	
プール	42,255 人	41,426 人	29,800 人	70.5%	71.9%	
トレーニングジム	10,147 人	9,948 人	7,773 人	76.6%	78.1%	
会議室	779 人	764 人	273 人	35.0%	35.7%	
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!	
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!	
合 計	53,181 人	52,138 人	37,846 人	71.2%	72.6%	

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円. %)

(1) 収入				(1	单位:十円,%)
	事業計画	実	績		
項目	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)	対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
県指定管理料	30,657	31,633	30,657	100.0%	96.9%
利用料金収入	8,200	8,992	6,918	84.4%	76.9%
その他	39,337	34,351	37,177	94.5%	108.2%
収入計(a)	78,194	74,976	74,752	95.6%	99.7%
(2) 支出					
人件費	20,040	18,617	19,763	98.6%	106.2%
施設管理費	38,563	34,272	30,969	80.3%	90.4%
事業運営費	3,208	1,795	1,518	47.3%	84.6%
その他	16,383	20,112	18,588	113.5%	92.4%
支出計(b)	78,194	74,796	70,838	90.6%	94.7%
(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	0	180	3,914	#DIV/0!	2174.4%
前期繰越収支差額			180	#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額			3,914	#DIV/0!	#DIV/0!

[※] 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

1) 収入	事 类引动			单位:千円,%)	
項目	事業計画 評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	續 評価対象年度 (令和2年度) (C)	対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
自主事業収入	39,894	33,278	28,816	72.2%	86.6%
その他	1,650	1,072	502	30.4%	46.8%
				#DIV/0!	#DIV/0!
収入計(a)	41,544	34,350	29,318	70.6%	85.4%
(2) 支出	-			•	
人件費	8,140	14,058	13,547	166.4%	96.4%
事業運営費	6,143	4,999	4,344	70.7%	86.9%
販売品仕入	1,320	72	42	3.2%	58.3%
諸経費	780	984	655	84.0%	66.6%
支出計(b)	16,383	20,113	18,588	113.5%	92.4%
(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	25,161	14,237	10,730	42.6%	75.4%
前期繰越収支差額			14,273	#DIV/0!	#DIV/0!
			10,730	#DIV/0!	#DIV/0!

6. 評価対象年度(令和2年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項 目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】	評価
①管理運営体制	・サービス時間帯に応じ適正な人員配置を 行いました。 ・定期的な接客サービス研修,指導研修を 行いました。	・曜日,時間帯,スクールを考慮し安全を第一優先とし応対が円滑になるよう人員を配置いたしました。 ・親切・丁寧を心がけた接客に努めました。 利用者から感謝の言葉を頂戴する機会も多く,接遇に関するクレームはありませんでした。		適切な人員配置のもと、来場者の立場で対 応する等事業計画に沿った管理運営が行 われている。	
人員体制	正規 3人 非正規 18人				
②施設・設備の維持 管理業務の実施	・保守契約に基づき計画的に設備点検,修 繕を進めました。 ・日々の水道・電気等の検針,デマンド監視 装置の活用,水質状況のデータ収集,館内 巡回による目視点検をそれぞれ行いました。		Α	施設設備の定期点検を実施し,修繕必要 箇所の早期発見とその対応により,適切な 施設の維持管理に努めている。	А
③運営業務(ソフト 事業等)の実施	 初めて来館された方へ向けた施設とキッズスクールのパンフレットを更新いたしました。 トレーニングジムを初めて利用される方へ講習会を定期的に設けました。 	・情報が整備されたパンフレットを活用し, スタッフによる説明対応が円滑となりました。 ・利用者とのニーズが合致し, 感謝のお言葉も頂きました。	Α	パンフレットを更新し,活用することにより対 応の向上がみられた。また,利用者のニー ズに合わせた対応を実施している。	А
④自主事業の実施	・キッズ体育スクールを6月に開講。定期的な短期教室、体験会を行いました。 ・成人向け各レッスン内容の見直しを行いま した。	応もよく入会へと繋がりました。	S	子どもから大人まで幅広いレッスン等を提供しており、利用者のニーズに沿った事業を展開している。	S
⑤利用者サービス の向上	・毎月第3日曜日を施設無料開放日として設定し実施いたしました。 ・更衣ロッカーを新規入替。定期的なマナーアップ啓蒙、クリーンアップ運動を行いました。 ・スクールバスを更新いたしました。	・地域住民に施設無料開放を楽しみにされている方もおり、地域貢献につながる施策として継続しているものです。 ・コイン不必要なタイプに変更し好評をいただきました。利用マナー啓蒙は利用者からお褒めの言葉も頂き一定の成果を得られました。	Α	施設の無料開放による,地域貢献のほか, レッスン内容に工夫を凝らし,施設の継続 的な利用を促進する取組を実施している。	Α
⑥利用者の苦情, 要望等の把握 とその反映	・感染症予防対策についてのご意見を頂戴 しております。	・利用者へのポスター掲示を強化し、ご協力の声掛けを随時行いました。 日常におけるご要望には即時対応に努めました。	Α	要望については,職員間で情報の共有化を 図り,早期の対応に努めている。	А
⑦安全対策	・スタッフ出勤時のCPRトレーニング及び、定期的なAED操作、緊急対応の研修を行いました。 ・防災避難訓練を年2回行いました。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策を行いました。	・有事に備え冷静に対処できるよう訓練を 積みました。地震時にも利用者の安全を最 優先した対応につながりました。 ・体温測定機設置。各所に除菌スプレー, 定期除菌清掃,換気を行い利用者の安全 に努めました。	S	避難訓練実施による、利用者の避難誘導経路等の確認のほか、CPR(心肺蘇生法)やAED操作等の研修を徹底し、心肺蘇生技術等の習熟に努めた。また、新型コロナウイルス感染症対策も適切に行われている。	S
⑧県民の平等利用	・柴田町広報誌へ施設開館状況など掲出 しております。 ・ホームページを活用し情報提供をおこな いました。	・ホームページの定期的な内容更新をおこない,情報の適正化に努めました。	Α	ホームページでの掲載のほか、柴田町と連携を図り、町内居住者を中心とした幅広い利用促進を図っている。	А

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】	評価
③個人情報の保護	・弊社マニュアルに則り,施設長管理の元 適切に取り扱っております。個人情報保護 法に関する研修を定期的に行いました。	・個人情報保護法に関する研修後には全 スタッフに法令順守理解のテストを実施し, 内容の理解と共有に努めました。	S	個人情報保護研修を実施し,理解度の確認のためテストを行う等,制度の理解を深め,情報の漏えい,き損の防止に努めた。	А
⑩利用実績	・前記【4. 施設利用実績】の通り	「延べ利用者数」 ・計画比 △15,335名(71.2%) ・前年比 △14,292名(72.6%) 年度初め(4,5月)の感染症による休館,及び年間を通した自粛による利用意識の低下が顕著に現れました。	В	新型コロナウイルス感染症の影響により, 結果的には対前年比・対計画比ともに減少となったが, コロナ影響による要因は除けば, 概ね計画通りの利用数であった。	Α
⑪収支実績	・前記【5. 管理運営収支実績】の通り	「収入」 ・計画比 △3,520千円(95.5%) ・前年比 19,888千円(136.6%) 感染症による一般の利用者・団体利用が 大幅に減り減収となりました。これに対して 宮城県より収入補填をいただき運営を行う ことができました。	В	新型コロナウイルス感染症の影響により,結果的には対前年比・対計画比ともに減少となったが,コロナ影響による要因は除けば,概ね計画通りの利用料金収入が見込まれた。	Α
⑫その他の取組	・白石市の幼稚園を団体利用誘致。・柴田町水中運動教室を実施。・柴田町内中学校の水泳授業に施設を提供。	・地域住民の方々に健康増進の施策及び,施設を活用して頂くことでその需要に貢献することができました。	S	団体利用の誘致や地元柴田町の事業に協力し、地域活動に参加するなど、地域住民にも開かれた施設として積極的にPRしている。	S
	総合評価	県民,地域の方々が安心してご利用いただける環境を提供し,時勢を鑑みたニーズに応じた運営を心がけました。健康増進の施設として更なる可能性を見出しております。	Α	利用者の立場に立ったきめ細かな施設運営を心がけている。無料開放日などの利用促進策の工夫も見られ、健康増進施設として地域へ貢献している。	Α

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

_	E1HVE	THた自在日 2011 7日 CH III 00 年十 (日文/)									
	評	価	評価の考え方								
	S 年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。										
	-	A 年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。									
	B 年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。										
	C 年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。										

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方					
S 年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。						
Α	A 年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。					
В	B 年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。					
C 年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。						

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者·施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	・管理施設全般の有効活用。 ・新規利用個人,及び団体の誘致。	施設の本来の目的である水球利用の促進について,一般利用とのパランスを考慮のうえ,積極的に大会や合宿の誘致を行う必要がある。 施設の効果的な利活用を図るため,自主事業内容の検討等,新規利用者の開拓や継続利用者の増加に向けた取組を行う必要がある。